

令和2年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和3年3月10日
苫小牧市立錦岡小学校

〔達成状況〕

- 教職員や保護者、児童の自己評価（4：そう思う 3：まあ、そう思う 2：あまり、そう思わない 1：そう思わない）の合計平均から、達成していると判断したものをA、おおむね達成をB、不十分であるをCとしています。

〔自己評価及び改善策の適切さ〕

- 達成状況の判断や改善策の内容について、学校評議員やPTA役員からいただいたご意見などから、適切であると評価されたものをA、おおむね適切をB、不適切であることをCとしています。

分野	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		達成状況	教職員	保護者 児童	成果・改善の方策 (○成果 ▲課題 →改善の方策)	自己評価 の適切さ	改善策の 適切さ
重点	学校は、子どもが毎日来たく なるような「楽しい」場所づ くりを努めている。	B	2. 3	3. 2 3. 3	▲子どもが学校を楽しめていない様子が見られた。 ▲明德小との統合やコロナ禍に伴う臨時休業等で、落 ち着いた学級経営を進めることが不十分になった。 →一人一人の子どもが学級で認められている存在であ ると感じることでできる指導を充実させます。	A	A
	学校関係者評価による意見	明德小との統合やコロナ禍による不安から、学校を休みがちになったり、学級が落ち着かなかつたりする様子が見られたと聞いています。先が見通せない、正解が分からない中での対応は難しかったと思いますが、今後も子どもが毎日来たくなるような「楽しい」学校づくりに努めてほしいです。					
学 ぶ 力 の 育 成	学校は、「読み・書き・計算」 の取組を通して、基礎的・基 本的な学力の定着を図ると ともに、「分かる・できる」 授業づくりに努めている。	B	3. 3	3. 4 3. 6	○算数の少人数指導や担任外教諭による TT 指導によ り、個に応じた指導を充実することができた。 →算数の少人数指導等の取組は継続します。新たに国 語の「分かる・できる」授業づくりに関する校内研 究に努めます。	A	A
	学校は、宿題を出したり、家 庭学習を奨励したりして、子 どもに学習習慣が身に付く ように取り組んでいる。	B	3. 6	3. 4 3. 2	▲朝学習や宿題、家庭学習の取組を統一・徹底して行 うことが不十分であった。 →朝学習や宿題、家庭学習の取組を見直して新年度に 新たに提示します。	A	A
	学校関係者評価による意見	学年によって宿題の量が極端に違うのはよくないので、プリントで宿題の量を統一することはよい と思いますし、学年が上がるにつれてノートでの家庭学習に取り組ませることも必要だと思います。					
豊 か な 心 の 育 成	学校は、子どもが安心して学 習やその他の活動に取り組 めるよう、道徳の授業や日常 の指導などを通して、いじめ の未然防止、早期発見・対応 に努めている。	B	3. 3	3. 2 3. 5	○「いじめアンケート」を通じた生徒指導や担任外教 諭による教育相談に努めることができた。 ▲日常的な小さないじめや暴力に気付いてほしい。 →廊下歩行などの学校生活で大切なルールや決まりを しっかりと守れる指導を工夫・充実します。 →よりよい人間関係づくりを目指した学級・学年経営 で学級が楽しいと思える居場所づくりに努めます。	A	A
	学校は、家庭と連携し、保護 者や先生、友達に進んで挨拶 をすることや場に応じた言 葉遣いができるように指導 している。	B	3. 1	3. 1 3. 3	▲登下校時や校内においても、自ら進んで挨拶する子 どもが減ってきているように感じる。 →挨拶の指導は年間を通じた学校の重点事項とし、意 義や場面を分けた指導をとおして習慣化できるよう に努めます。	A	A
	学校関係者評価による意見	挨拶が少ないと感じるのはマスクで顔の表情が見えないということも影響していると思います。し かし、子どもとの会話の中で「はい」という返事が少ないことも気になります。マスクをした生活が 続く中で大変だとは思いますが、挨拶や返事の指導は引き続き充実してほしいです。					

分野	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		達成状況	教職員	保護者 児童	成果・改善の方策 (○成果 ▼課題 →改善の方策)	自己評価 の適切さ	改善策の 適切さ
健やかな体の育成	学校は、体育の授業や日本一周マラソンなどの取組を通して体力づくりを図るとともに、養護教諭・栄養教諭と連携して食育や保健指導の充実に努めている。	B	3.3	3.5 3.3	○「マラソン大会」や「秋の体育ウィーク」など、コロナ禍でできる取組を工夫することができた。 ▲「縄跳び」や「外遊び」など、日常的な体力づくりの取組を増やしてほしい。 →体育的行事は求められる「行動様式」を踏まえた中で時間や内容を工夫して実施する予定です。 →体育の授業に「縄跳び」を積極的に取り入れたり、ドッジボールコートを整備したりするなど、日常的に運動に取り組める環境づくりに努めます。	A	A
	学校関係者評価による意見	「秋の体育ウィーク」は場所取りもなくじっくりと見ることができたのでよかったです。また、子どもの学校での様子を参観することができたよい機会となりました。コロナ禍や保護者の負担を考慮して、今後は午前開催の運動会でもよいと思います。					
信頼される学校づくり	学校は、お便りやホームページを通して、学校の取組や子どもたちの様子などについての情報をよく伝えている。	B	3.3	3.3 —	▲参観日がなかったため、学級での子どもたちの様子が分かるお便りがあるとよかった。 →参観日や個人懇談の機会を作ることを検討中です。 →各種お便りではお知らせだけでなく、子どもたちの学校生活の様子を伝える工夫に努めます。	A	B
	学校は、保護者や子どもの思いを受け止め、親身になって相談に乗ったり、適切に対応したりしている。	B	3.6	3.2 3.6	▲学校に相談した後の対応が無かったり、遅かったりすることがあった。 ▲子どもたちの声をしっかりと聞いてあげてほしい。 →「いじめアンケート」だけでなく、日頃から子どもの様子を把握し、子どもの思いや悩みに親身になって対応できる学校づくりに努めます。	A	A
	学校は、PTAや地域組織との連携を通して、校内外の教育活動を充実したり、子どもの安全を確保したりする取組に努めている。	B	3.2	3.2 —	○「交通安全あいさつ運動」はPTAボランティアを募集する形で実施することができた。 →PTA活動は引き続きボランティアを募集する形で内容の充実に努めます。 →登下校の安全確保に向けた取組の充実に向け、地域組織との連携の強化に努めます。	A	A
	学校関係者評価による意見	参観日がなかったため、子どもの様子が見えなかった学校や学年・学級通信があるよかったです。PTA活動も少なかったので、物足りなさを感じました。学校と家庭、地域との関係づくりを進めるためにも、可能な限りでよいので、参観や懇談、PTA活動の機会を設けてほしいです。					
その他	学校は、業務内容を見直したりするなどして、子どもと向き合う時間を確保し、ゆとりをもって接している。	C	2.7	3.0 —	▲明德小との統合やコロナ禍に伴う様々な対応に追われたこともあり、子どもと向き合う時間を十分に確保することができなかった。 →授業の準備や子どもとの教育相談などができる時間の確保に向け、学校行事の在り方などを見直しますので、保護者の皆様のご理解をお願いします。	B	B
	学校関係者評価による意見	校内の消毒作業をしてくれる職員が増えたことはよいことだと思います。学校の取組が分かりにくかったので、評価しにくい1年だったと思いますが、今年度の取組は全てが不十分ではなかったと思いますので、この経験を、ぜひ、来年度の取組に生かしてほしいです。					

- ◇この度の「学校評価」では、保護者の皆様から多くのご意見やご要望をいただき、誠にありがとうございます。本校の課題を学校全体で受け止め、今後の学校づくりに生かしていきたいと考えております。
- ◇しかし、コロナ禍での制限された教育活動は引き続き行われる見込みで、これまでとは違った内容や方法で取り組まなければならない活動も多くあり、皆様方の声に全て対応できないことも想定されます。
- ◇学校は子どもが毎日来たくなるような「楽しい」学びの場所ではなくはなりません。結果を真摯に受け止め学校改善に努めて参りますので、今後も保護者の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。